

郷土の武将讃える戸沢氏祭



悪天候でお家行列が中止

8月17日、中世から戦国時代にかけて西木、角館一帯を治めた戸沢氏をしのぶ戸沢氏祭が西木町で行われました。

メインとなる住民たちが武将などに扮して練り歩く「お家行列」は、台風7号の悪天候による影響で残念ながら中止となりましたが、約30人の参加者は行列の出発点である真山寺へ参拝のみ行いました。また、桧木内川河川公園では、手踊りや田沢



悪天候のため一部メニューが中止となりましたが、手踊りなどの芸能発表は行われました。

湖龍神太鼓などが予定どおり行われ、時折小雨が降る中、最後に花火大会も行われ、大勢の人がお祭りを楽しみました。

子どもふるさと交流推進事業



ミニバス通じて交流

8月5日から7日まで宮城県女川町のミニバスケットボールチームの小学生10人が仙北市を訪れ、農家民宿体験、バスケットボールの対戦、自然体験を通じて交流を深めました。

初日は田沢湖高原の農家民宿に泊まり、オーナーの案内のもと、ブナ森などをハイキングしました。翌日は神代、白岩のチームとバスケットの試合を行い、会場の神代小学校体育館は、大



バスケットを通じて女川の子どもたちと市の子どもたちが熱戦を繰り広げました。

きな声援と熱気に包まれました。最終日は、神代チームの子どもたちと田沢湖でカヌー体験を楽しみながら交流を深めました。

大槌町の子どもが夏休み体験



自然の魅力を肌で感じる

8月2日から4日まで岩手県大槌町の児童23人が仙北市を訪れ、文化体験や自然体験などをしました。

この事業は、公益社団法人日本山岳ガイド協会が東北大震災を契機に行っているもので、仙北市では初開催となりました。

滞在中は、あきた芸術村で踊りを通じた伝統文化体験を行ったり、秋田駒ヶ岳の男女岳に登ったりしたほか、最終日は、



青空のもと、気温はぐんぐん上昇中。田沢湖で子どもたちは初めてのカヌー体験に大はしゃぎでした。

田沢湖でカヌーなどの自然体験を満喫。お昼には田沢湖キャンプ場で流しそうめんを食べながら楽しい思い出を作りました。

第46回たざわ湖・龍神まつり



田沢湖が熱気に包まれる

真夏の田沢湖を熱く盛り上げる「第46回たざわ湖・龍神まつり」が8月6日、田沢湖白浜・おまつり広場を会場に開催されました。

会場は多数の屋台が軒を連ね、特設ステージで音楽祭が行われるなどお祭りムード一色。メインイベントの龍神祭では、辰子姫伝説を再現するように龍体の担ぎ手たちがかけ声高らかに演舞を披露し、この日一番の



迫力いっぱいの「双龍の出会い」では2体の龍を若者が担ぎ、威勢のよいかけ声を響かせました。

歓声が上がりました。祭りの最後には湖上で花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩りました。

白寿のお祝い

おめでとうございます



白寿を迎えられた伊藤榮さんに、8月18日、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



白寿を迎えられた伊藤榮さん(前列右から3番目)。ご家族でお祝いました。

青山学院大学副学長の橋本修氏が観光大使に



新観光大使に就任し、笑顔を見せる橋本修氏(左)と門脇市長(右)。

8月6日、田沢湖ハーブガーデン「ハートハーブ」で、角館町出身の橋本修氏(東京都小金井市在住)に仙北市では9人目となる観光大使

の任命証が交付されました。橋本氏は現在、青山学院大学の副学長を務めています。

門脇市長から任命証を手渡された橋本氏は「角館高校を卒業後、東京に行きました。一時期はアメリカにも住み、人生の多くを故郷以外で過ごしたことで、多くの人的ネットワークに恵まれました。青山学院大学は巨大な大学ですが、その分様々な活動が多彩です。仙北市を学内でも首都圏でもアピールし、お世話になった故郷へ恩返しできればと思います」と話しました。

田沢湖駅前広場で夏まつり



駅前ににぎわいを創出

8月15日、JR田沢湖駅前広場で「第2回田沢湖駅前広場夏まつり」が開催されました。

この催しは、こまちの会(村上陽子会長)が主催するもので、駅前を活性化しようと昨年に続き行われました。

当日は親子で楽しめる「ミニミニ梵天作り」や自慢のものを披露する「カラオケ大会」などが行われたほか、地域の伝統行事である梵天や梅沢ささらなども



夏休みの子どもたちが大勢参加した「ミニ梵天作り」。家族連れで楽しむ姿が見られました。

次々と披露され、多くの観客を魅かせていました。

勇壮な白岩大名行列が復活



18年ぶりの開催に沿道沸く

8月15日、角館町白岩地区の伝統行事「白岩大名行列」が同地区で18年ぶりに行われました。

この催しは1998年以降、住民の減少や生活環境の変化などにより中止していましたが、藩政期から行われてきた歴史的に重要な伝統文化であり、白岩の威厳と誇りを取り戻すため、春から住民有志が準備を進めてきました。各世帯へ大名行列への参加を呼びかけ実現に至りま



大名行列は1時間ほどかけて雲巖寺までの約800mを歩きました。到着後、境内では棒術やささらを披露し、大勢の観客から拍手が送られました。

した。当日は地元の子供や生徒、若者など約70人が勇壮に練り歩き、沿道の住民を喜ばせました。



成人を代表して、門脇優輔さん(左)に門脇市長(右)から成人証書が授与されました。

仙北市成人式が仙北市民会館で8月15日に開催されました。
今年の新成人は平成7年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた284人が対象です。
式では、新成人の千葉将太さんが司会を務め、成人者を代表し門脇優輔さんに成人証書が授与されました。
また、藤村立さん、清水大輝さん、澤山健人さんが「恵まれた環境で育ったと実感している。成人としての責任を忘れず、何事にも挑戦していきたい」「今は感謝の気持ちでいっぱい。帰省すると仙北市のよさに気づく。いつか戻り、地域



「誓いのことば」で、将来の抱負を述べた藤村立さん、清水大輝さん、澤山健人さん(左から順番に)。

■成人式当日に出席できなかった方へ

成人証書を9月30日まで生涯学習課で保管していますので、受け取りに来てください。
受取場所・問合せ/教育委員会 生涯学習課(角館庁舎2階) ☎43-3383

平成28年度 仙北市成人式

に恩返しができるよう精進したい」「家族や友人にこれまで支えられてきた。これからは、自分が支える立場になれるようさらに成長していきたい」と誓いのことばをそれぞれ述べました。



門脇市長(右)から審議会委員一人ひとりに委嘱状が手渡されました。会長には仙北市商工会の佐藤正美さん(左)が選出。

第1回仙北市総合政策審議会が8月4日、仙北市役所田沢湖庁舎で開催され、9人の審議会委員へ委嘱状が交付されました。この審議会は、市の総合計画や重要施策の進捗状況や効果などについてご意見をいただきます。委員は以下の方々です。【敬称略、()内は所属等】

- 会長 佐藤正美(仙北市商工会)
- 副会長 中村正孝(学識経験者)
- 委員 門脇健郎(一般社団法人田沢湖・角館観光連盟)
- 委員 能美忠堯(社会福祉法人仙北市社会福祉協議会)
- 委員 草薨 隆(秋田おぼこ農業協同組合)
- 委員 伊藤 順(仙北市PTA連合会)
- 委員 池本 敦(国立大学法人秋田大学)
- 委員 新山睦子(学識経験者)
- 委員 赤上マツ(学識経験者)

仙北市総合政策審議会委員に委嘱状を交付

石橋邦宏氏が東北防犯功労者表彰

地域の安全確保に尽力
7月29日、仙北警察署で東北防犯功労者表彰式が行われ、仙北市防犯協会副会長の石橋邦宏氏(田沢湖生保内)が表彰されました。石橋氏は、昭和54年から36年にわたり地域防犯活動を積極的に推進しています。
また、平成16年からは「たざわ湖防犯巡回隊」の副隊長として、隊員の指導・育成に努めるとともに、児童生徒の登下校時における防犯巡回パトロール活



動を実施するなど、地域の安全確保に尽力されています。

表彰された石橋邦宏氏(中央)と富樫司仙北警察署長(左)、橋本左武郎仙北市防犯協会会長(右)。

防犯巡回隊が防犯看板を設置



犯罪のない地域づくり
西明寺防犯巡回隊が、西明寺地域運営体の協力のもと、地域住民がお互いに声をかけ合い、連帯意識を高めることにより、子どもを犯罪から守ることを目的に、西明寺小学校正門脇に防犯看板を設置しました。
巡回隊は、平成24年6月に結成し、児童生徒の登下校時における青色回転灯装着車による防犯パトロールや特殊詐欺被害の防止活動を積極的に展開する



西明寺防犯巡回隊が設置した防犯看板。犯罪者が入り込みにくい地域を築きます。

など、地域の防犯意識の高揚に努めています。

交通安全パレードで練り歩く



交通事故から守ろう
8月1日から10日までの間、夏の交通安全運動が実施され、「飲酒運転の根絶」「後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」「若年運転者の交通事故防止」等を重点に、市内各地でさまざまな交通安全への取り組みが行われました。
10日には角館町ハイタク連絡協議会(藤井正勝会長)がJR角館駅、仙北警察署、仙北地区



交通安全協会の協力のもと、JR角館駅前から武家屋敷通りまでの区間、交通安全パレードを実施しました。

参加者は交通安全を呼びかけるのぼり旗を掲げ、市民や観光客に啓発品を配布しながら交通安全を呼びかけました。

田沢のNPOが焼酎を販売



「田沢ながいも」の風味豊か
田沢地区のNPO法人「荷葉工房」(金谷優理事長)が、地域運営体提案型事業として同地区で長年栽培されている長芋を使ったオリジナル焼酎「荷葉のめぐみ」を販売しました。
完成までには、田沢出張所サポーターセンターの協力をはじめ、田沢地域運営体「荷葉」の浦山久二会長がラベルに毛筆で題字を書くなど、地域住民が一体となり作り上げました。



価格は720ml入りで、税込み1500円。問合せは金谷理事 ☎090-8517-2462まで。

この焼酎は、長芋の風味が感じられ、キリッとした辛口が特徴です。ぜひ、帰省の際のお土産などにもお勧めしたい田沢産ブランドの一品です。

側溝の清掃活動で地域貢献



地域のために一役
8月10日、万六建設株式会社(田中恒雄代表取締役)が、下高野地区の側溝の清掃活動を行いました。これは例年、同建設会社が工事現場近くで行っている地域貢献の一環で、大雨などで流され、側溝約150箇にたまった土を従業員5人がスコップでかき出していきました。
近くに住む柴田英孝さんは「土で埋まっていた側溝がきれいになった。このような作業を



してもらって非常にありがたい」と話していました。

地域のために側溝の清掃活動に汗を流す作業員。



ドローン国際競技大会

小型無人機（ドローン）の国際競技会「ドローンインパクトチャレンジアジアカップ2016」が7月29日から31日にかけて、仙北市で開催されました。

期間中は、ドローン飛行の体験教室やドローンなどの近未来技術をテーマにしたシンポジウムや日本を含むアジア7か国の約50人が出場した迫力あるドローンレースが行われました。



ASIA CUP 2016



大会初日の29日、ホテル森の風田沢湖グラウンドゴルフ場で行われたドローン体験教室では仙北市や大仙市、美郷町などの児童たち約60人が参加。競技会出場者からドローンの操作方法を学び、飛行を楽しみました。

また、角館交流センターで行われたシンポジウムには、約200人が出席。パネル討論では、DEN A執行役員の中島宏さん、起業家の牧浦士雅さん、大館市の東光鉄工UAV事業部シニアマネージャーの鳥潟與明さん、門脇光浩市長

が意見交換しました。

門脇市長は「特区に指定されたことで、さまざまな情報や人に出会う機会を多く持つようになった。財産を広げて、地方変革のエネルギーを生み出していきたい」と話しました。

30日は、ホテル森の風田沢湖グラウンドゴルフ場などで競技が始まりました。目視でドローンを操縦し、ゲートをくぐり3本の旗の外側を回る1周200メートルのコースで3分間の飛行距離を競う「レギュラークラス」が行われ、県内外から12人が出場。仙北市の田沢湖RCフライングクラブ所属の鈴木紀文さんが優勝しました。

最終日の31日は、専用ゴーグルでドローンに搭載するカメラの映像を見ながら操縦し、最高時速150キロでコースを周回しタイムを競う「マスタークラス」の決勝などが行われました。レースには、予選を勝ち抜いた30人が出場。1周約600メートルのコースを3つのゲートをくぐって3周したタイムを競い合い、韓国から参戦したキム・ヒョンソプさんが優勝しました。

競技が行われた30日と31日で約1200人が来場。訪れた観客は、時速150キロを超えるドローンの迫力を堪能していました。

マスタークラスで優勝した韓国のキム・ヒョンソプさん（左）に倉橋副市長（右）から優勝カップが手渡されました。

レギュラークラスで優勝した田沢湖RCフライングクラブの鈴木紀文さん（右）と田村清一会長（左）。

8月11日は「山の日」 記念プレートを配布



「山の日」にちなみ、登山客に市の職員から記念プレートが配布されました。

8月11日は今年から制定された「山の日」。当日は好天にも恵まれ、秋田駒ヶ岳登山を楽しむ登山客が多く見られました。

アルパこまくさでは、（一社）日本森林林業振興会秋田支部より寄贈された「秋田駒ヶ岳登山記念プレート」が登山客160人に配布されました。

仙北市長杯争奪 野球選手権大会

第11回仙北市長杯争奪野球選手権大会が7月24日と31日、角館町の落合野球場で開催され、12チームが対戦の結果、今光学が優勝しました。

【個人賞】最優秀選手賞 藤井直也（今光学）
優秀選手賞 鈴木洸哉（本町通り）
敢闘賞 浅利和行（今光学）



今光学に優勝旗が手渡されました。

北仙北500歳野球大会 西木クラブが初優勝

第25回北仙北500歳野球大会が7月3日、旧角館東小球場で開催され、決勝で西木クラブが神代球友会を下し、念願の初優勝を飾りました。



今大会には12チームが参加。初優勝した西木クラブの選手の皆さん。

仙北市出身選手が活躍 大曲工業高校が甲子園で熱戦

8月10日、第98回全国高校野球大会の1回戦に出場した大曲工業高校（大仙市）は、埼玉県の強豪校として名高い咲徳栄高校と対戦しました。仙北市出身の選手も活躍する大曲工業高校は、甲子園でも持ち前の粘り強さを発揮。先発投手は序盤から威力ある速球や変化球を披露し、守備でも堅い守りを見せました。また、思い切りのよい打線も快音を響かせ、4回には好投手を相手に本塁打を放つなど、強豪校と熱戦を展開しました。

惜しくも「夏の甲子園1勝」は持ち越しとなりましたが、来年につながる実りある戦いに、地元からも熱い声援が送られました。



甲子園で華々しい活躍を見せた大曲工業高校野球部。

佐々木兄弟 リオデジャネイロオリ ピックの報告で来庁

8月17日、リオデジャネイロオリンピックのカヌー競技（男子カナディアンペア）に出場した佐々木将汰選手、翼選手の兄弟が市役所角館庁舎へ報告に訪れました。

お二人は「今回は予選を通過できませんでしたでしたが、世界の壁が高いという感じは受けませんでした。次の東京オリンピックでメダルを狙います」と力強く話しました。

今後の活躍に期待します。



門脇市長と熊谷教育長にリオ五輪の報告に訪れた佐々木将汰選手（前列左）と翼選手（前列右）。

田沢湖図書館に 「十五日会」が 図書カード寄贈

このたび、田沢湖図書館に「十五日会」（平岡三郎会長）から図書カードが贈られました。これは、仙北市の子どもたちの読書環境充実のためにと、毎年同会より寄贈いただいているもので、田沢湖図書館では、幼児から小中学生までを対象に、学習に役立つ本を購入し、貸出しを始めています。ぜひご利用ください。



十五日会の平岡三郎会長（右）と同会の北都銀行田沢湖支店の太田渉支店長（左）。

子育てサポート 「はっぴい・ママ」が 秋田県知事表彰を受賞

8月3日、子育てサポート「はっぴい・ママ」（茂木一代代表）が、子ども・子育て支援に関し積極的な活動を行っている団体として、秋田県知事表彰を受賞しました。

当団体は平成15年に結成し、子育て中の親子が自由に交流できる場の提供、読み聞かせや体操教室などの講習会を定期的で開催しています。茂木代表は「今後も子育て中の家庭に寄り添って、気軽に参加してもらえるよう努めていきたい」と話しました。



秋田県知事表彰を受賞した「はっぴい・ママ」の皆さん。